

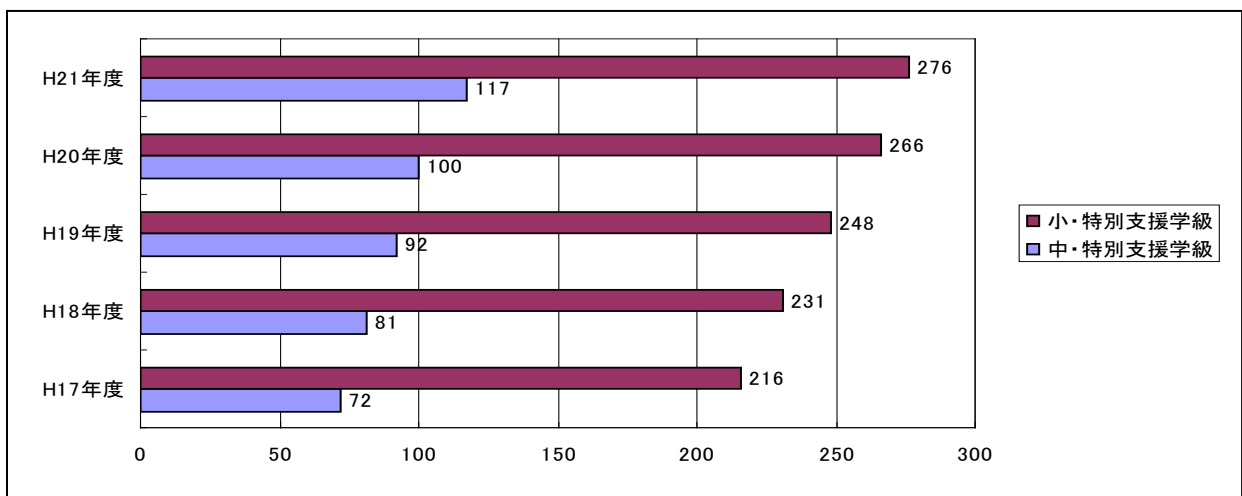
重点10 特別支援教育の推進 特別支援教育

ねらい

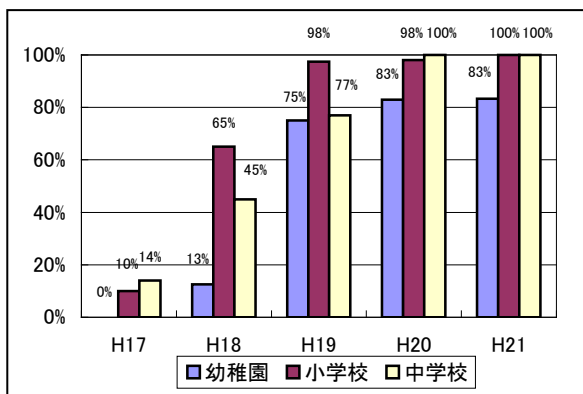
障害のある子どもたちが自立し、社会参加するために必要な力を培うため、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばします。また、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行います。

現状と課題

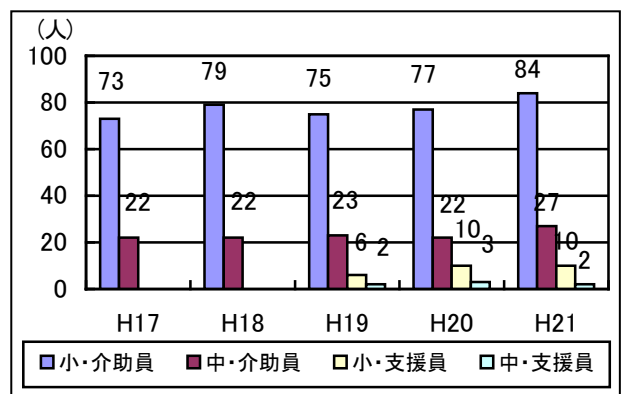
特別支援学級児童・生徒数



個別の教育支援計画策定状況
(個別の指導計画を含む)



特別支援学級介助員及び
特別支援教育支援員の配置



- 特別支援学級に在籍する児童生徒数が年々増加しています。一人一人の教育的ニーズに対応するためには、校内のコーディネーターを中心に校内の特別支援教育委員会を充実させ、支援体制を確立する必要があります。
- 対象となる幼児児童生徒の個別の教育支援計画策定は増えてきているものの（幼稚園 22園，小学校 40校，中学校 22校），在籍中の支援内容をさらに充実するとともに，進級進学および卒業時に支援が途切れないよう関係機関の連携を密にする必要があります。
- 特別な教育的支援を効果的に行うことができるようOJT研修の充実を図るなど，教職員の力量を高める必要があります。

今後の方向性

「途切れない支援」をすすめるため、特別支援教育校園内体制をさらに充実したものとします。



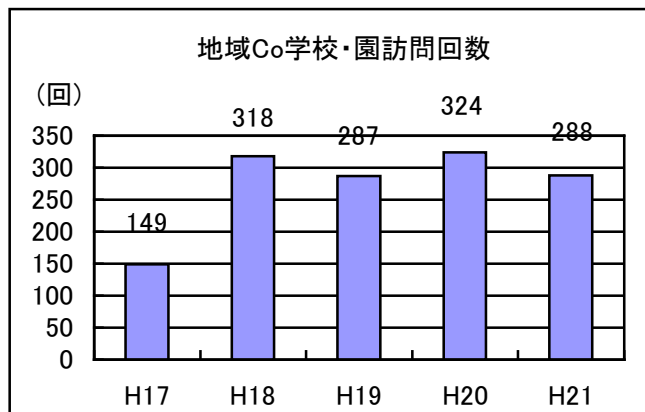
- 「個別の教育支援計画」を策定している園・学校が増えています。今後も、一人一人に応じた指導を充実し、学校全体で支援していくという視点から、通常の学級に在籍している子どもも含めて、「個別の教育支援計画」が必要な子どもに策定されるよう取り組んでいきます。
- U-8 事業を充実させるとともに、「相談支援ファイル」の活用を保護者にすすめ、園・学校での支援につなげていきます。現在までに 503 冊の「相談支援ファイル」が作成されており、さらに新規の作成を進めていきます。
- 巡回相談での助言を園・校内全体のものとしていく校園内体制を充実していきます。
- 四日市市特別支援教育推進協議会においては、就労支援にむけて、関係部署・機関との連携を充実させていきます。
- 年々増加傾向にある特別な教育的支援が必要な児童生徒に対して、適切な支援を行うために介助員・支援員配置ができるよう計画していきます。

その他の主な取組状況

○ 地域特別支援教育コーディネーターの配置（以下、地域 Co）

一人一人の教育的ニーズに応じた特別な教育的支援を推進する校園内体制を確立するため、助言や連絡調整などを行う地域 Co を平成 17 年度から配置しています。

（本年度は、小学校 3 名，中学校 2 名，計 5 名）。



○ 特別支援教育に関する啓発

保護者向けに、「四日市市における早期からの途切れない支援」の全体像と相談先を示す啓発リーフレットを作成しました。

このことにより、子どもの発達のみならず特性を正しく理解し、就学前から適切な支援を行う早期支援や、保育園・幼稚園や学校において、関係機関と連携しながら適切な支援を行います。



第4章 子どもたちを指導する上で特に重要と考えるもの

○ 早期支援「U-8事業」の開始

ことばに関する課題や、対人関係・社会性の課題，学習上の基礎的な力に関する課題がある幼児・児童（4～8才）とその保護者を対象に，児童福祉課，健康づくり課，指導課とともに，「幼児ことばの教室」・「ともだちづくり教室」・「まなびの教室」・「子どもの見方・ほめ方教室」を開設しました。学んだ内容を生かしていくために，園や学校との連携が重要になってきます。

登録件数		82
教室別	ことば	34
	まなび	18
	ともだちづくり 子どもの見方ほめ方	30
実施回数		438
実施人数		582

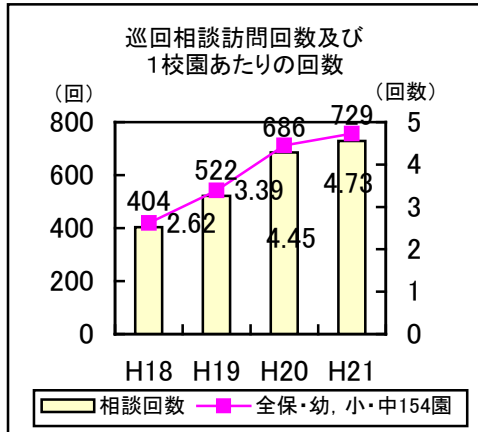
○ 特別支援教育スーパーバイザーの巡回相談

元医療少年院院長の専門的知見を有するスーパーバイザーが学校訪問をし，その経験から児童生徒へのかかわり方や教職員の悩みについてアドバイスをいただきました。多様な特性のある思春期の子どもに対して，具体的な方法を教えていただき，勉強になったとの声が多くありました。

スーパーバイザー訪問校数及び回数

	校数	回数
小学校	8	11
中学校	9	12
合計	17	23

○ 巡回相談員による教育相談の実施



(巡回相談員内訳)

	H18	H19	H20	H21
地域Co	3	5	5	5
巡回相談員	5	9	9	9
教育支援課 スーパーバイザー	0	0	0	1
教育支援課職員	3	4	5	5
計	11	18	19	20

学校・園を訪問しての相談が増えてきています。今後とも，相談後の子どもや保護者への途切れのない支援を充実していくことが必要です。